



瀧本 孝一 議員  
(市民クラブ)  
一問一答方式

## 行政組織再編の時期や 新庁舎完成は遅れるのか

問……………

前回9月議会で質問した「行政組織再編の内容と方向性について」、予定されていた議員全員協議会への説明や、今議会に提出されるはずだった関係条例の上げがない。

延期になる場合、新庁舎の完成時期と組織再編の相互関係は。

答……………

再編は本年4月の稼働に向けて、シンプル・スリム・フラットかつ、これからの「あるべき組織」について、地域経営会議において8回の協議を重ねてきた。

しかし、新庁舎の完成が当初の予定から2〜3カ月遅れて7月末となることから、組織再編も拙速を避け、より丁寧な検討をするため、1年先送りの平成30年4月からとする判断をしたところでありご理解願いたい。

問……………

組織再編が遅れる場合の、市民サービスや地域経営改革等への影響はないか。

答……………

再編の時期が延期になることで、市民サービスへの影響はないと考える。



厳しい寒さの中、本年7月末の完成を目指して着々と工事が進む新庁舎の工事現場

## 高齢者の交通事故抑止へ 免許自主返納誘導策は

問……………

高齢者が原因と思われる、悲惨な交通事故が全国各地で多発している。市内の高齢者の運転免許証自主返納等の実態は。

答……………

当市の人身事故件数は年々減少しているが、高齢者が関わる件数は増加傾向にあり、平成27年度は全体の約8割を占めている。

市内高齢者の運転免許自主返納件数は平成27年度に70件、平成28年度は11月現在で43件という状況で、高齢者ドライバーの1.5%にとどまっている。

問……………

車は地方や過疎地にとって重要な交通手段であるが、増え続ける高齢者事故対策の一環として、運転免許自主返納を促す啓発や誘導策の考えは。

答……………

高齢者交通安全教室の中で、測定機械を使って身体機能の変化を自覚してもらい、自主返納を促している。また、遠野警察署が開催している高齢者対象の法令講習会で制度をPRしている。



答……………

遠野市は今までも様々なイベントに対応してきたノウハウを有しており、全国大会もこなせる力を持っている。課題を一つ一つチェックしながら準備を加速させていく。

問……………

この大会を契機として

更なる生産拡大への振興策は。

答……………

引き続き遠野わさび生産者協議会と遠野わさび公社という、市人的、組織的財産を活用し、根わさび、畑わさびの更なる振興を進めることとなる。



菊池 充 議員  
(遠野一新会)  
一問一答方式

## 全国わさび生産者大会に向けての 取り組み状況と今後の振興策は

問……………

全国的に知名度の高い遠野市であるが、一次産業に限っては全国に誇れる品目が少ない中で、日本食文化の代名詞でもあるわさび産地をどのように発信をしていくのか。

答……………

来年度開催される遠野大会においては、まさに、28年前に宮守が

全国に向けて情報発信した成果と栽培100年の歴史を踏まえ、今後100年の遠野わさびの振興を全国に発信していく。

開催時期の見通しと大会を担う事務局等の受け入れ体制は。

問……………

開催時期は平成29年

答……………

開催時期は平成29年

問……………

大会内容とそれに伴う予算の見通しは。

答……………

1日目はわさび審査会、2日目は品評会、通常総会、講演会及び

問……………

2日目は市産業まつりの前日となり実行委員会関係者は準備への対応や例年開催している大府市や福崎町の首長、議員、職員、特産品販売関係者等と遠野市の同様の関係者による交流会もあり日程的に厳しいのでは。



農業所得の向上が大きく期待される林間畑わさび